

2020年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 第2四半期 業績のポイント	P.2
3. 第2四半期 業績の状況	P.3
4. 第2四半期 業績と予想（連結）	P.4
5. 主要製品の状況	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.6
7. 開発品一覧	P.7～8
【参考資料】	
8. 損益計算書の概要（連結）	P.9～10
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.11
10. 主な業績項目の推移（連結）	P.12
11. 杏林製薬資料	P.13～16
12. セグメント情報	P.17

2019年11月7日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2020年3月期 第2四半期 決算概観（連結）

（単位：百万円）

	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	増減率	20年3月期 (修正予想)	前年比	20年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	54,628	50,758	50,360	48,299	-4.1%	109,400	-3.7%	114,100	+0.4%
営業利益	3,663	1,443	2,852	783	-72.5%	6,500	-27.6%	9,100	+1.4%
経常利益	3,921	1,693	3,183	1,076	-66.2%	7,100	-24.8%	9,600	+1.7%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	2,684	1,240	2,217	834	-62.4%	5,400	-21.4%	7,100	+3.4%

20年3月期 第2四半期 連結業績（実績）

【売上高】 新医薬品（国内）では、主力製品「フルティフォーム」の伸長、新製品「ベオーバ」及び昨年度発売した「ナゾネックス点鼻液」の売上寄与があったものの、「デザレックス」の供給一時停止の影響及び長期収載品の売上減少等により前年を下回る実績で推移しました。他方、後発医薬品では、「モメタゾン点鼻液（オーソライズド・ジェネリック）」の発売もあり売り上げは増加しましたが、医療用医薬品事業合計としては減収となりました。ヘルスケア事業の実績は横ばいで推移し、全体として売り上げは前年同期比20億61百万円減（前年同期比4.1%減）の482億99百万円となりました。

【利益】 売り上げの減少及び売上原価率の上昇により、売上総利益は前年同期に対して20億53百万円減少しました。販売費及び一般管理費は、前年同期に対して横ばい（15百万円増加。内、研究開発費1億60百万円増）で推移し、営業利益は7億83百万円と前年同期比20億69百万円の減益（前年同期比72.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億34百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

20年3月期 連結業績（予想）

2019年5月13日付け「2019年3月期 決算短信」にて公表しました2020年3月期の（通期）連結業績予想を以下の通り修正しました。

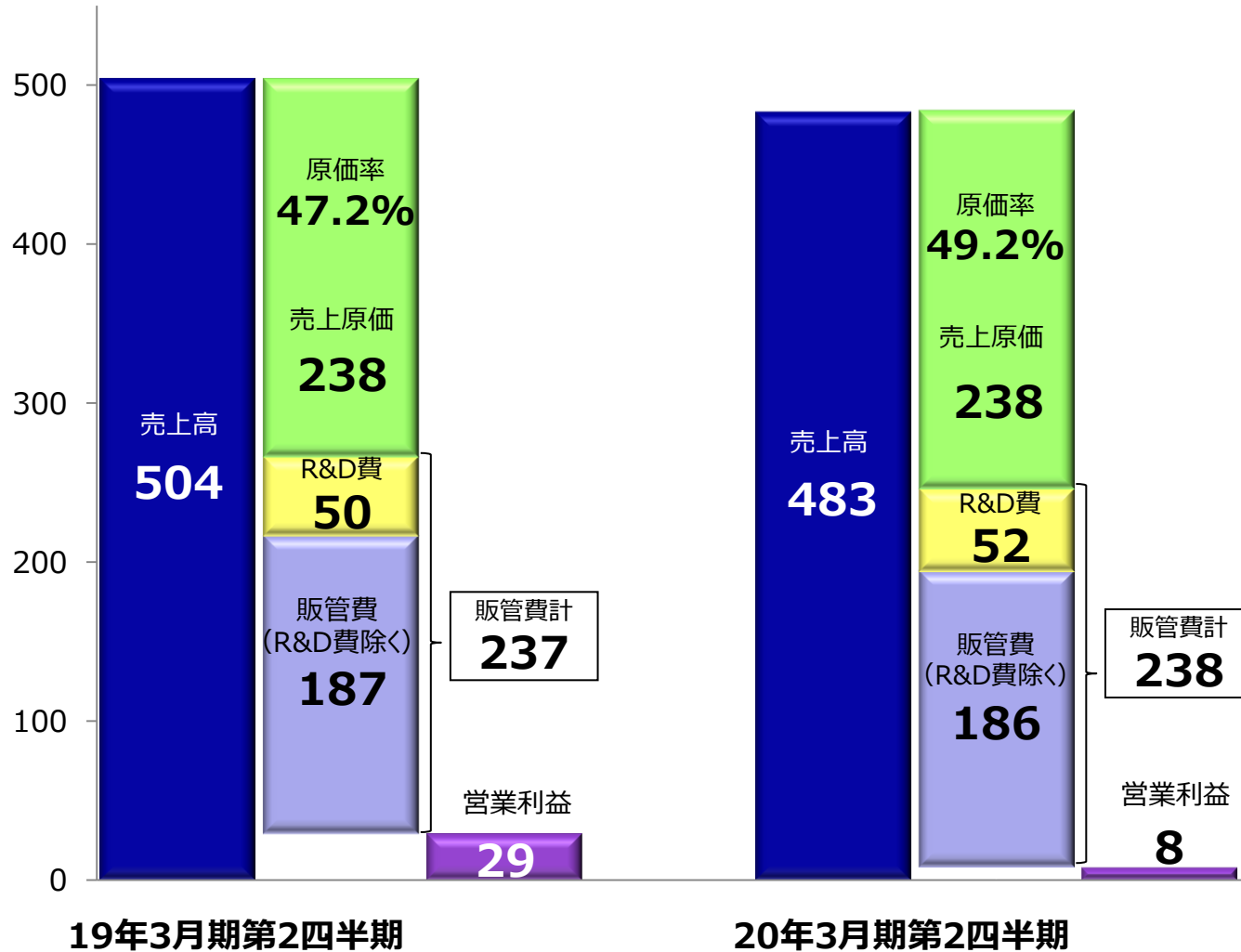
【売上高】 第2四半期連結累計期間の業績を勘案するとともに、新医薬品（国内）において、主力製品「デザレックス錠5mg」の供給再開が11月となったこと、また新製品「ラスビック錠75mg」の製造販売承認が9月となり、発売時期が遅延したことにより両製品の売り上げを見直し、売上高を下方修正いたしました。

【利益】 売上高が当初予想を下回る見通しとなったことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正しました。

【配当】 2019年5月13日に公表した配当予想（年間75円/株）の変更はございません。

2020年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位：億円)



【ポイント】

- 売上高は前年同期比21億円減少
- 売上原価率は2.0ポイント上昇
 - ・プロダクトミックスの影響
 - ・一時金収入の減少等
- 売上総利益は前年比21億円減少
- 販管費は前年同期比1億円増加
 - ・R&D費は2億円増加
 - ・販管費 (R&D費除く) は1億円減少
- 営業利益は前年比21億円減少

2020年3月期 第2四半期 業績の状況

(単位：億円)	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	対前年		(対前年)	※(対予想)
売上高	504	483	-21	■売上高	483億円	(-21) (-38)
医療用医薬品事業	476	455	-21	◆医療用医薬品事業	455億円	(-21) (-36)
◆新医薬品	340	313	-27	●国内新医薬品	309億円	(-25) (-25)
○国内	334	309	-25		19.3 (20) → 20.3 (20)	
○海外	6	4	-2	・フルティフォーム	61 ⇒ 67	(+6) (+1)
◆後発医薬品	136	142	+6	・デザレックス	28 ⇒ 0	(-28) (-18)
ヘルスケア事業	28	28	0	・キプレス	62 ⇒ 54	(-8) (+5)
				・ナゾネックス	13 ⇒ 27	(+14) (-4)
				・ウリトス	35 ⇒ 30	(-5) (-1)
				・ベオーバ	— ⇒ 6	(+6) (-1)
				・ペンタサ	71 ⇒ 68	(-3) (+5)
				・ムコダイン	31 ⇒ 28	(-3) (+1)
				●海外新医薬品	4億円	(-2) (0)
				●後発医薬品	142億円	(+6) (-11)
					モンテルカストAG及びモメタゾンAGが売上増加に寄与	
				◆ヘルスケア事業	28億円	(0) (-1)
				■営業利益	8億円	(-21) (-15)
				◆営業利益率は1.6%と前年比4.1ポイント低下		
				●原価率：前年比2.0ポイント上昇 (47.2%⇒49.2%)		
				・プロダクトミックスの影響、一時金収入の減少等		
				●研究開発費率：前年比0.7ポイント上昇 (10.0%⇒10.7%)		
				・R&D費の増加 (50億円⇒52億円) 開発プロジェクトの進展		
				●販管費率 (除くR&D費)：前年比1.3ポイント上昇 (37.2%⇒38.5%)		
				・1億円減少 (187億円⇒186億円) 主に販売費の減少		
				■親会社株主に帰属する 四半期純利益	8億円	(-14) (-11)

※ 第2四半期連結業績予想について、2019年11月5日に修正をリリースしましたが、対予想は2019年5月13日発表値との差異を示します

2020年3月期 第2四半期 業績と予想 (連結)

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期 (実績)	20年3月期 第2四半期			20年3月期 第2四半期 (予想)	差額	19年3月期 (実績)	20年3月期 (修正予想)	当初予想 との差額
		実績	差額	増減率 (%)					
売上高	50,360	48,299	-2,161	-4.1	52,100	-3,801	113,620	109,400	-4,700
医療用医薬品事業	47,581	45,505	-2,076	-4.4	49,100	-3,595	107,859	103,400	-4,600
◆新医薬品	34,028	31,339	-2,689	-7.9	33,800	-2,461	78,525	72,400	-3,400
○国内	33,424	30,949	-2,475	-7.4	33,400	-2,451	77,694	71,000	-3,400
○海外	604	390	-214	-35.5	400	-10	830	1,400	+100
◆後発医薬品	13,552	14,166	+614	+4.5	15,300	-1,134	29,334	31,000	-1,200
ヘルスケア事業	2,779	2,793	+14	+0.5	2,900	-107	5,761	5,900	-200
営業利益	2,852	783	-2,069	-72.5	2,300	-1,517	8,972	6,500	-2,600
経常利益	3,183	1,076	-2,107	-66.2	2,500	-1,424	9,438	7,100	-2,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,217	834	-1,383	-62.4	1,900	-1,066	6,869	5,400	-1,700

※ 第2四半期連結業績予想について、2019年11月5日に修正をリリースしましたが、対予想は2019年5月13日発表値との差異を示します

2020年3月期 第2四半期 主要製品の状況

(単位：億円)		18年3月期 第2四半期 (実績)	19年3月期 第2四半期 (実績)	20年3月期 第2四半期			20年3月期 第2四半期		19年3月期 (実績)	20年3月期 (修正予想)	当初予算 との差額
				実績	差額	増減 (%)	予想	差額			
国内 新医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	54	61	67	+6	+10.3%	66	+1	131	141	+1
	デザレックス (アレルギー性疾患治療薬)	9	28	0	-28	—	18	-18	37	50	-30
	キプレス(成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	39	29	24	-5	-15.4%	22	+2	62	47	+2
	キプレス(小児製剤) (気管支喘息治療剤)	51	33	30	-3	-9.6%	27	+3	76	63	+2
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	—	13	27	+14	+110.3%	31	-4	128	62	0
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	36	35	30	-5	-12.9%	31	-1	66	59	-1
	ベオーバ (過活動膀胱治療剤)	—	—	6	+6	—	7	-1	7	28	+3
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	80	71	68	-3	-5.4%	63	+5	135	127	+7
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	39	31	28	-3	-9.7%	27	+1	68	61	+1
後発 医薬品	モンテルカスト「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	50	53	54	+1	+2.5%	55	-1	119	115	-1
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	—	—	4	+4	—	—	—	—	18	-1
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	11	11	11	0	-1.1%	12	-1	22	22	-1

※ 第2四半期連結業績予想について、2019年11月5日に修正をリリースしましたが、対予想は2019年5月13日発表値との差異を示します

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

(単位：百万円)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	増減率 (%)	19年3月期	20年3月期 (修正予想)
研究開発費	7,327	7,179	5,030	5,191	+3.2	10,790	10,600
設備投資	1,383	1,989	949	1,367	+43.9	2,306	4,100
減価償却費	1,751	1,710	1,395	1,566	+12.3	2,940	3,400

設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期	19年3月期	20年3月期 (予想)
工場設備	7	8	15	32
管理・販売設備	0	3	3	4
研究用設備	2	2	5	5

開発品一覧① (2019年11月7日現在)

PhⅢ ~ 承認

※2019年7月31日からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※承認 (19年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認 (市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	
※申請 (19年10月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		
申請準備中		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
申請 (19年7月)		KRP-108P	気管支喘息	英国 ベクトリス社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

・慢性咳嗽治療剤「MK-7264」 MSD社がPhⅢ実施中 販売協業に関する覚書締結 (19年5月)

開発品一覧② (2019年11月7日現在)

POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (18年8月)		KRP-N118 (SK-1404)	夜間多尿による夜間 頻尿	(株)三和化学 研究所	バソプレシンV2受容体のアゴニストで、腎臓 の集合管で水の再吸収を促進して尿量を 減らす(抗利尿作用) 有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う 夜間頻尿治療薬として期待されている	(株)三和化学研究所とライセンス契約 (18年3月)
Ph II (18年6月)		Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝 子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細 胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性 化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業 [NexTEP]への採択(14年6月) 【米国】桃太郎源(株)が前立腺がんの 臨床試験(Ph I / II)実施中 【日本】岡山大学で肝がんの医師主 導臨床治験 (Ph I / I b)実施中

導出品の状況

開発段階/海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 プリストル・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し 抗炎症作用を示す	プリストル・マイヤーズスクイブ社 とライセンス契約 (15年12月)
Ph I	KRP-203	再導出を検討中	移植片対宿主 病 (GvHD)		S1P受容体アゴニスト	バルティス社が開発戦略上の視点 から開発中止を決定し、開発権を返 還。

(参考資料) 損益計算書の概要 (連結) - ①

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期		20年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	50,360	100.0%	48,299	100.0%	-4.1%	-2,061
医療用医薬品事業	47,581	94.5%	45,505	94.2%	-4.4%	-2,076
◆新医薬品	34,028	67.6%	31,339	64.9%	-7.9%	-2,689
○国内	33,424	66.4%	30,949	64.1%	-7.4%	-2,475
○海外	604	1.2%	390	0.8%	-35.5%	-214
◆後発医薬品	13,552	26.9%	14,166	29.3%	+4.5%	+614
ヘルスケア事業	2,779	5.5%	2,793	5.8%	+0.5%	+14

<当期のポイント：対前年>

(対前年)

■売上高 **48,299百万円** (-2,061百万円)

●国内新医薬品 **30,949百万円** (-2,475百万円)

(億円)	19.3 (2Q)	⇒	20.3 (2Q)	
・フルティフォーム	61	⇒	67	(+6)
・デザレックス	28	⇒	0	(-28)
・キプレス	62	⇒	54	(-8)
・ナゾネックス	13	⇒	27	(+14)
・ウリス	35	⇒	30	(-5)
・ベオーバ	—	⇒	6	(+6)
・ペンタサ	71	⇒	68	(-3)
・ムコサイン	31	⇒	28	(-3)

●海外新医薬品 **390百万円** (-214百万円)

(億円)		⇒		
・ガチフロキサシン	4	⇒	2	(-2)

●後発医薬品 **14,166百万円** (+614百万円)

・モンテルカストAG及びモメタゾンAGが売上増加に寄与

●ヘルスケア事業 **2,793百万円** (+14百万円)

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社7社： 杏林製薬(株)
Kyorin USA, Inc.
Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサプライ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期		20年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	50,360	100.0%	48,299	100.0%	-4.1%	-2,061
売上原価	23,758	47.2%	23,750	49.2%	-0.0%	-8
売上総利益	26,602	52.8%	24,549	50.8%	-7.7%	-2,053
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	23,749 (5,030)	47.2% (10.0%)	23,765 (5,191)	49.2% (10.7%)	+0.1% (+3.2%)	+16 (+161)
営業利益	2,852	5.7%	783	1.6%	-72.5%	-2,069
営業外収益	372	0.7%	351	0.7%	-5.6%	-21
営業外費用	42	0.1%	59	0.1%	+38.9%	+17
経常利益	3,183	6.3%	1,076	2.2%	-66.2%	-2,107
特別利益	2	0.0%	123	0.3%	—	+121
特別損失	73	0.1%	21	0.0%	-70.7%	-52
税金等調整前 四半期純利益	3,111	6.2%	1,178	2.4%	-62.1%	-1,933
法人税・住民税 及び事業税	611	1.2%	354	0.7%	-42.1%	-257
法人税等調整額	282	0.6%	-9	0.0%	—	-291
親会社株主に帰属す る四半期純利益	2,217	4.4%	834	1.7%	-62.4%	-1,383

<当期のポイント：対前年>

◆売上原価率：前年比2.0ポイント上昇
 (47.2%→49.2%)

- ・プロダクトミックスの影響
- ・一時金収入の減少等

◆研究開発費率：前年比0.7ポイント上昇
 (10.0%→10.7%)

- ・50億円→52億円（2億円増加）

◆販管費率（除R&D費）：前年比1.3ポイント上昇
 (37.2%→38.5%)

- ・187億円→186億円（1億円減少）
- ※主に販売費の減少

■営業利益 783百万円（-2,069百万円）

- ・営業利益率は1.6%と4.1ポイント低下

■親会社株主に帰属する四半期純利益 834百万円（-1,383百万円）

■配当（中間） 30円00銭

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	19年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	114,904	66.4%
現金及び預金	32,007	
受取手形及び売掛金	52,635	
有価証券	501	—
棚卸資産	25,420	
その他	4,339	
固定資産	58,130	33.6%
有形固定資産	21,792	
無形固定資産	3,401	—
投資その他	32,936	
資産合計	173,034	100.0%

流動負債	41,480	24.0%
支払手形及び買掛金	11,441	—
その他流動負債	30,038	
固定負債	8,159	4.7%
負債合計	49,639	28.7%
株主資本	116,744	67.5%
その他の包括利益累計額	6,651	3.8%
その他有価証券評価差額金	8,925	
為替換算調整勘定	56	—
退職給付に係る調整累計額	-2,331	
純資産合計	123,395	71.3%
負債及び純資産合計	173,034	100.0%

20年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
111,204	67.0%	-3,700
42,811		
34,349		
501	—	—
30,280		
3,262		
54,690	33.0%	-3,440
21,832		
3,212	—	—
29,645		
165,895	100.0%	-7,139

39,203	23.6%	-2,277
9,838		
29,364	—	—
7,175	4.3%	-984
46,379	28.0%	-3,260
114,963	69.3%	-1,781
4,552	2.7%	-2,099
6,732		
11	—	—
-2,191		
119,516	72.0%	-3,879
165,895	100.0%	-7,139

<当期のポイント>

(対前期末)

■ 流動資産：3,700百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+10,804百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-18,286百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+4,860百万円)
- ・その他 (-1,077百万円)

■ 固定資産：3,440百万円減

- ・有形固定資産の増加 (+40百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-189百万円)
- ・投資その他の減少 (-3,291百万円)

■ 流動負債：2,277百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-1,603百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-674百万円)

■ 固定負債：984百万円減

主な業績項目の推移（連結）

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	50,758 (523)	50,360 (604)	48,299 (390)
売上原価 (売上原価率) %	23,128 (45.6%)	23,758 (47.2%)	23,750 (49.2%)
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	26,186 (51.6%)	23,749 (47.2%)	23,765 (49.2%)
うち研究開発費 (研究開発費率) %	7,179 (14.1%)	5,030 (10.0%)	5,191 (10.7%)
営業利益 (営業利益率) %	1,443 (2.8%)	2,852 (5.7%)	783 (1.6%)
経常利益 (経常利益率) %	1,693 (3.3%)	3,183 (6.3%)	1,076 (2.2%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	1,240 (2.4%)	2,217 (4.4%)	834 (1.7%)
一株当たり利益(円)	16.86円	30.04円	14.56円
資本金	700	700	700
総資産	189,993	196,255	165,895
純資産	157,501	164,618	119,516
一株当たり純資産(円)	2,138.99円	2228.81円	2,086.31円
自己資本利益率 %	0.8%	1.4%	0.7%
自己資本比率 %	82.9%	83.9%	72.0%
人員(人)	2,378人	2,334人	2,292人
設備投資	1,989	949	1,367
減価償却費	1,710	1,395	1,566

19年3月期	20年3月期 (修正予想)	20年3月期 (当初予想)
113,620 (830)	109,400 (1,400)	114,100 (1,300)
56,210 (49.5%)	—	—
48,436 (42.6%)	—	—
10,790 (9.5%)	10,600 (9.7%)	10,900 (9.6%)
8,972 (7.9%)	6,500 (5.9%)	9,100 (8.0%)
9,438 (8.3%)	7,100 (6.5%)	9,600 (8.4%)
6,869 (6.0%)	5,400 (4.9%)	7,100 (6.2%)
104.68円	94.26円	123.94円
700	—	—
173,034	—	—
123,395	—	—
2,154.05円	—	—
4.8%	—	—
71.3%	—	—
2,297人	—	—
2,306	4,100	4,100
2,940	3,400	3,500

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期		20年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	43,957	100.0%	41,667	100.0%	-5.2%	-2,290
医療用医薬品事業	41,463	94.3%	39,203	94.1%	-5.5%	-2,260
◆新医薬品	32,929	74.9%	30,204	72.5%	-8.3%	-2,725
○国内	32,451	73.8%	29,910	71.8%	-7.8%	-2,541
○海外	477	1.1%	293	0.7%	-38.5%	-184
◆後発医薬品	8,534	19.4%	8,999	21.6%	+5.5%	+465
ヘルスケア事業	2,493	5.7%	2,463	5.9%	-1.2%	-30

<当期のポイント：対前年>

(対前年)

■売上高 **41,667百万円** (-2,290百万円)

●国内新医薬品 **29,910百万円** (-2,541百万円)

(億円)	19.3 (2Q)	⇒	20.3 (2Q)	(対前年)
・フルティフォーム	61	⇒	67	(+6)
・デザレックス	28	⇒	0	(-28)
・キプレス	62	⇒	54	(-8)
・ナゾネックス	13	⇒	27	(+14)
・ウリトス	35	⇒	30	(-5)
・ベオーバ	—	⇒	6	(+6)
・ペンタサ	71	⇒	68	(-3)
・ムコダイン	31	⇒	28	(-3)

●海外新医薬品 **293百万円** (-184百万円)

(億円)	19.3 (2Q)	⇒	20.3 (2Q)	(対前年)
・ガチフロキサシン	4	⇒	2	(-2)

●後発医薬品 **8,999百万円** (+465百万円)

・モンテルカストAG及びモメタゾンAGが売上増加に寄与

●ヘルスケア事業 **2,463百万円** (-30百万円)

(億円)	19.3 (2Q)	⇒	20.3 (2Q)	(対前年)
・ミルトン	11	⇒	11	(0)
・ルビスタ	6	⇒	6	(0)

損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	19年3月期 第2四半期		20年3月期 第2四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	43,957	100.0%	41,667	100.0%	-5.2%	-2,290
売上原価	20,747	47.2%	20,638	49.5%	-0.5%	-109
売上総利益	23,210	52.8%	21,029	50.5%	-9.4%	-2,181
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,541 (4,556)	49.0% (10.4%)	21,386 (4,717)	51.3% (11.3%)	-0.7% (+3.5%)	-155 (+161)
営業利益	1,669	3.8%	-357	-0.9%	-121.4%	-2,026
営業外収益	322	0.7%	641	1.5%	+98.9%	+319
営業外費用	24	0.1%	41	0.1%	+67.9%	-17
経常利益	1,967	4.5%	243	0.6%	-87.6%	-1,724
特別利益	—	—	—	—	—	—
特別損失	68	0.2%	14	0.0%	-79.4%	-54
税引前四半期純利益	1,899	4.3%	229	0.6%	-87.9%	-1,670
法人税・住民税 及び事業税	339	0.8%	107	0.3%	-68.3%	-232
法人税等調整額	240	0.5%	-15	0.0%	—	-255
四半期純利益	1,319	3.0%	137	0.3%	-89.6%	-1,182

<当期のポイント：対前年>

- ◆ **売上原価率：前年比 2.3ポイント上昇**
(47.2%→49.5%)
 - ・プロダクトミックスの影響
 - ・一時金収入の減少等
- ◆ **研究開発費率：前年比 0.9ポイント上昇**
(10.4%→11.3%)
 - ・46億円→47億円 (1億円増加)
- ◆ **販管費率(除くR&D費)：前年比1.4ポイント上昇**
(38.6%→40.0%)
 - ・170億円→167億円 (3億円減少)
- **営業利益 -357百万円 (-2,026百万円)**
 - ・売り上げの減少及び売上原価率の上昇による売上総利益の減少
- **四半期純利益 137百万円 (-1,182百万円)**

貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	19年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	118,028	72.9%
現金及び預金	7,581	
売掛金	47,814	
有価証券	501	—
棚卸資産	19,237	
その他	42,893	
固定資産	43,957	27.1%
有形固定資産	7,685	
無形固定資産	3,087	—
投資その他	33,184	
資産合計	161,986	100.0%

流動負債	36,562	22.6%
買掛金	10,299	
その他流動負債	26,262	—
固定負債	4,103	2.5%
負債合計	40,665	25.1%
株主資本	112,464	69.4%
評価・換算差額等	8,856	5.5%
純資産合計	121,320	74.9%
負債及び純資産合計	161,986	100.0%

20年3月期 第2四半期末		
実績	構成比	前期末増減
116,007	74.2%	-2,021
18,664		
30,309		
501	—	—
24,168		
42,363		
40,311	25.8%	-3,646
7,433		
2,895	—	—
29,982		
156,318	100.0%	-5,668

36,127	23.1%	-435
9,675		
26,451	—	—
3,216	2.1%	-887
39,343	25.2%	-1,322
110,299	70.6%	-2,165
6,675	4.3%	-2,181
116,975	74.8%	-4,345
156,318	100.0%	-5,668

<当期のポイント> (対前期末)

■ 流動資産：2,021百万円減

- ・現金及び預金の増加 (+11,083百万円)
- ・売掛金の減少 (-17,505百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+4,931百万円)
- ・その他 (-530百万円)

■ 固定資産：3,646百万円減

- ・有形固定資産の減少 (-252百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-192百万円)
- ・投資その他の減少 (-3,202百万円)

■ 流動負債：435百万円減

- ・買掛金の減少 (-624百万円)

■ 固定負債：887百万円減

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期
売上高 (海外売上)	44,493 (434)	43,957 (477)	41,667 (293)
売上原価 (売上原価率) %	19,982 (44.9%)	20,747 (47.2%)	20,638 (49.5%)
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	24,253 (54.5%)	21,541 (49.0%)	21,386 (51.3%)
うち研究開発費 (研究開発费率) %	6,691 (15.0%)	4,556 (10.4%)	4,717 (11.3%)
営業利益 (営業利益率) %	257 (0.6%)	1,669 (3.8%)	-357 (-0.9%)
経常利益 (経常利益率) %	639 (1.4%)	1,967 (4.5%)	243 (0.6%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率) %	200 (0.5%)	1,319 (3.0%)	137 (0.3%)
一株当たり利益(円)	2.69円	17.76円	1.85円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	147,124	145,896	156,318
純資産	123,871	123,018	116,975
一株当たり純資産(円)	1,667.90円	1,656.41円	1,575.04円
自己資本利益率 %	0.2%	1.0%	0.1%
自己資本比率 %	84.2%	84.3%	74.8%
人員(人)	1,707人	1,606人	1,537人
設備投資	460	193	185
減価償却費	915	521	679

19年3期	20年3月期 (修正予想)	20年3月期 (当初予想)
99,736 (613)	95,500 (1,200)	100,000 (1,100)
50,443 (50.6%)	—	—
43,905 (44.0%)	—	—
9,569 (9.6%)	9,300 (9.7%)	9,500 (9.5%)
5,387 (5.4%)	4,000 (4.2%)	6,100 (6.1%)
6,121 (6.1%)	4,900 (5.1%)	6,900 (6.9%)
4,389 (4.4%)	3,700 (3.9%)	5,200 (5.2%)
59.10円	—	—
4,317	—	—
161,986	—	—
121,320	—	—
1,633.55円	—	—
3.5%	—	—
74.9%	—	—
1,567人	—	—
599	400	400
1,183	1,400	1,400

2020年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	483	-21	8	-21
医療用医薬品事業計	455	-21	5	-22
◆新医薬品	313	-27		
○国内	309	-25		
○海外	4	-2		
◆後発医薬品	142	+6		
ヘルスケア事業計	28	+0	2	+2
調整額	-	-	1	-1

■ 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。